

FUKUOKA TOKUSHUKAI HOSPITAL

# TEAM

特集

一刻を争う、  
命と向き合う

心臓血管外科  
ICU



一刻を争う。命と向き合う  
**心臓血管外科**

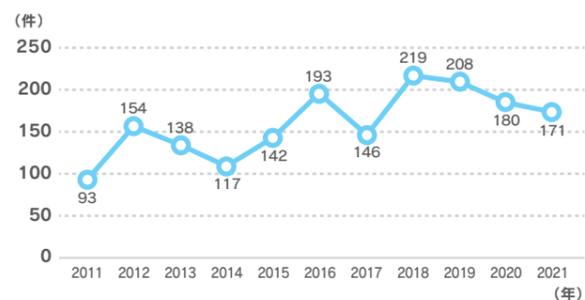
## 全領域の心臓手術を チームで完結する。

福岡徳洲会病院の心臓血管外科は1988年8月に開設され、これまで約4000例の心臓手術を行ってきました。また、腹部大動脈や上下肢の血管手術を合わせると、延べ約8500例の手術治療を行ってきたこととなります(①、②)。さらに、徳洲会病院が24時間体制で救急医療に取り組んでいることから、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂などの一刻を争う緊急手術が多いのも特徴です。そのため、手術室スタッフ、人工心肺を担当する臨床工学技士、放射線技師、生理検査技師など心臓外科治療にかかわるチームスタッフが、24時間オンコール体制で待機し、手術に備えています。成人心臓血管疾患のすべての領域(虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患、心臓腫瘍、成人先天性心疾患など)の外科治療を、当科の心臓外科チームで完結(③)していること、いずれの領域においても他の施設と遜色ない手術成績を残していること。そのすべてが、チーム一丸となって、手術・術後管理に取り組んできた結果であると考えています(④)。

① 症例数：開心術



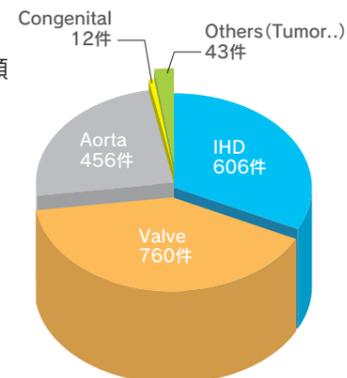
② 症例数：腹部・末梢血管



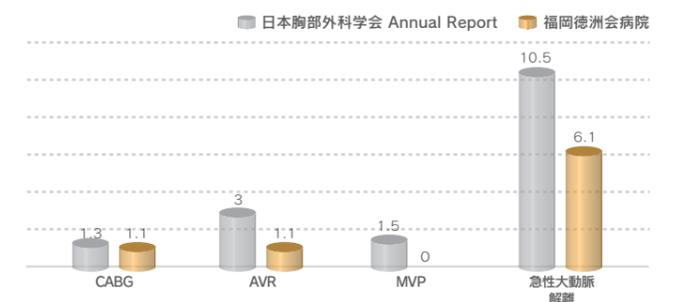
③ 開心術の分類

2009年~2021年  
**合計1877件**

- IHD
- Valve
- Aorta
- Congenital
- Others(Tumor..)



④ Hospital Mortality(%)





## 治療の可能性を広げ、合併症ゼロに挑む。

**副院長**  
**片山 雄二**  
カタヤマ ユウジ  
 佐賀医科大学出身

- 日本外科学会 外科専門医
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構  
心臓血管外科専門医・修練指導者
- 関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
腹部ステントグラフト実施医・胸部ステントグラフト実施医
- 下肢静脈瘤血管内治療実施委員会  
下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医・指導医
- 日本病院会 医療安全管理者

心臓手術の成否はチームの総合力にかかっています。心臓手術の目標は患者様の「質の高い生活の獲得」にありますが、これは心臓外科医のみで達成できるものではありません。手術に直接携わるスタッフはもちろん、ICU・病棟スタッフ、そして術後リハビリを担う理学療法士など、チームの一人一人が同じ目標に向かって力を結集する必要があります。我々心臓外科チームは、日々精進し続けなければなりません。



**心臓血管外科 部長**  
**三保 貴裕**  
ミホ タカヒロ  
 佐賀医科大学出身

- 日本外科学会 外科専門医
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構  
心臓血管外科専門医
- 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会  
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による指導医



**心臓血管外科 医長**  
**野上 英次郎**  
ノガミ エイジロウ  
 熊本大学出身

- 日本外科学会 外科専門医
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構  
心臓血管外科専門医・修練指導者
- 関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
腹部ステントグラフト実施医・指導医・胸部ステントグラフト実施医
- 経カテーテルの大動脈弁置換術関連学会協議会  
経カテーテルの大動脈弁置換術 (TAVR) 実施医・指導医



**心臓血管外科 医員**  
**稗田 拓朗**  
ヒエダ タクロウ  
 大分大学出身



## 34年の歴史が培う、最先端医療。

### 弁膜症

患者さんの状態に応じた手術戦略を図る

人生100年時代を迎え、高齢者の手術症例は年々増加しています。特に健康寿命が伸びたことにより、大動脈弁狭窄症(AS)の手術適応症例の増多是顕著です。高齢者は潜在的な臓器機能の予備力低下が存在するため、症例に応じた最適の戦略を図ることが重要となります。福岡徳洲会病院では各症例をハートチームで検討し、SAVR(従来の外科的大動脈弁置換術)、TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)、MICS-AVR(胸骨切開を行わない肋間小開胸・内視鏡補助下の大動脈弁置換術)など症例に応じた最適な治療選択を行っています。

### 冠動脈バイパス術(CABG)

体に優しい、臓器への低侵襲手術 OPCAB

福岡徳洲会病院の冠動脈バイパス術の最大の特徴はOPCAB(Off pump CABG:心拍動下冠動脈バイパス術)にあります。当科では25年以上前からCABGの基本術式をOPCABとし、これまで変わることなく続けて参りました。緊急手術を含む単独CABGのOPCAB完遂率は95%超です。OPCABの最大の利点は脳梗塞に代表される周術期合併症の低減です。実際当科ではこの13年間、OPCAB症例で後遺症を有する脳合併症を経験していません。OPCABは人工心肺使用下のCABGに比べて吻合手技が難しく手術中の管理に熟練を要するため、本邦でもやや減少傾向にあります。当院では心臓手術チーム(麻酔科医、手術室スタッフ)による技術・知識の継承により安定した良好な手術成績が得られています。

### 下肢静脈瘤血管内焼灼術

肢の苦痛・美容上の懸念を低侵襲で解決

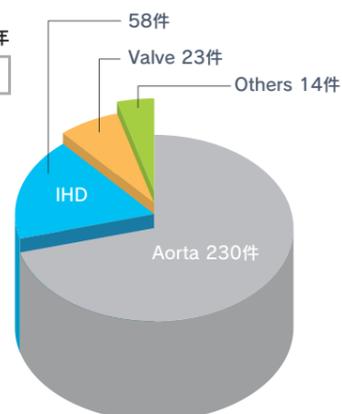
出産後の女性や立位での仕事に従事されている方の多くが下肢静脈瘤に罹患しています。下肢静脈瘤による下肢のむくみ・たるさ・痛み・痒み・こむら返りなどの症状に苦しんでいる方も少なくありません。福岡徳洲会病院心臓血管外科では下肢静脈瘤の専門外来を毎週土曜日に行っています。治療が必要な方には低侵襲・短時間(治療時間:一肢30分~60分、一泊入院)でカテーテルによる血管内治療を行っています。長期間静脈瘤に苦しんできた方が多いためか、非常に満足度の高い治療になっています。



### 緊急症例

徳洲会病院の使命ともいえる急患対応に、チームで一貫して取り組んできました。我々は少数のone teamですが、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂など超緊急症例を積極的に受け入れてきました。2009年から2021年までの13年間の開心術(胸部大動脈を含む)1877例中325例(17.3%)が緊急もしくは準緊急手術でありました。特に、当科の開設からしばらくは心臓大血管の緊急症例を受け入れる病院が少なく、筑紫地区のみならず遠方からの緊急症例も数多く手術させていただきました。最近では福岡県内の多くの心臓外科施設で緊急症例の受け入れが可能になりましたので、相互連携を図り、受け入れ遅滞が生じないよう取り組んでいます。

緊急症例  
2009年~2021年  
合計325件



# ICU・HCU入院数 2,222件

ICU入院：1258件  
HCU入院：964件  
令和3年度

## 多職種力を結集し、 集中治療の質を高める。

福岡徳洲会病院の集中治療センターは20床(ICU14床・HCU6床)を有し、約2,000名/年の重症患者さんを受け入れています。また、年間約10,000件の救急搬入があるERを有し、患者さんは年齢を問わず、また内因性・外因性に関わらず、すべてを受け入れているためその疾患は多岐にわたります。尚、当院は2018年、スーパーICU(特定集中治療室)の施設基準をクリアし、2019年には日本集中治療医学会の集中治療専門医研修施設にも認定され、集中治療専門医の育成にも力を注いでいます。

### 多職種チームだから、 目指せる治療がある。

手術・カテーテル治療はもちろん、薬物治療・栄養療法・リハビリテーション・感染予防・DVT予防・せん妄対策など、すべてが重要かつ総合的に取り組むべき治療であると考えています。だからこそ、多職種の力を結集することで、質の高い集中治療が可能となります。毎朝、多職種によるチーム回診を行い、治療方針などを共有するものためです。



### ICUから始める 早期リハビリテーションに 力を入れています。

ICUからの早期リハビリテーションが患者さんの予後にとって大切です。当院では科によらず、原則的に入室翌日にはリハビリを開始し積極的に早期離床を促しています。人工呼吸器を装着した状態でも覚醒を促し、起立・歩行訓練などを行います。



#### ICU doctor

「TEAM ICU」のチームリーダーとして、エビデンスに基づいた世界基準の治療の一步先を目指して日々重症患者さんの治療に従事しています。



集中治療センター センター長  
江田 陽一 コウダ ヨウイチ

熊本大学出身  
 ■日本救急医学会 救急科専門医  
 ■日本集中治療医学会 集中治療専門医・評議員  
 ■日本感染症学会 認定ICD  
 ■日本病院会 医療安全管理者  
 ■全日本病院協会 看護師特定行為指導者  
 ■医学博士

「救急～集中治療～在宅医療まで、シームレスな医療」を目指して。



集中治療センター 医長  
向江 美智子 ムカイ ミチコ

熊本大学出身  
 ■日本麻酔科学会 麻酔科指導医・専門医  
 ■日本麻酔科学会 麻酔科認定医  
 ■厚生労働省認定 麻酔科標榜医  
 ■日本医師会 認定産業医

気持ちの上でも患者さんが前向きに過ごせるように、時には挿管中の患者さんのリハビリを屋外で行うなど多職種で協力して取り組んでおります。



集中治療センター 医員  
牧 誉将 マキ タカユキ

熊本大学出身  
 ■日本救急医学会 救急科専門医  
 ■日本内科学会 認定内科医

少しでも早く患者さんが回復できるよう、医師同士はさることながら多職種間でもしっかりとコミュニケーションをとり、ICUでの診療に日々取り組んでいます。

#### 〈ICU 特殊治療件数/令和3年度〉

項目		項目		項目	
項目	件数	項目	件数	項目	件数
TAVI	27	人工呼吸器装着	336	CHDF	39
ダビンチ手術	66	NPPV	70	PMX-DHP	19
PCPS	25	NO療法	12	PA(血漿交換)	1
Impella	15			PA(血漿吸着)	1
IABP	71	脳低温療法	15		

TEAM  
ICU  
・  
information

## チームの想いはひとつ。 「多職種それぞれが主治医のつもりで」。



集中治療センター  
センター長  
江田 陽一

当院のICUは、ERからの重症患者さんや定期的術後の患者さんなど疾患は問わず、成人から小児まですべての患者さんを受け入れる general ICUとして機能しています。

主治医チームと共に患者さんの治療にあたるのは、2012年から結成されたICU専属の多職種チーム「TEAM ICU」です。「TEAM ICU」とは、ICU専属の医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、臨床工学技士、栄養士、ソーシャルワーカーなどの多職種で結成しています。重症患者さんの病態を深く理解した上で、それぞれの分野の専門家の立場から「多職種それぞれが主治医のつもりで」を合言葉に日々、治療に従事しております。

毎朝、多職種によるICUチーム回診を行い、正確な病態把握、情報

共有に努めており、多職種でディスカッションした上で、治療の質が少しでも高まり早く回復できるよう主治医チームに治療法やケアを提案しています。

適切な人工呼吸管理、ECMOやIABPなどの体外循環の管理、血液浄化法(CHDF、PMX-DHP、血漿交換)、脳低温療法など特殊な医療機器を必要とするCritical Care、ICUから開始する早期リハビリテーションと早期栄養、重症時の複雑化する薬剤管理、人工呼吸器関連肺炎(VAP)や深部静脈血栓症(DVT)の予防などすべてが重要な治療なのです。

より質の高い集中治療を提供し、少しでも地域医療に貢献できるよう日々研鑽してまいります。



理学療法士 中島 浩貴

### 理学療法士 中島 浩貴

2013年よりICU専任理学療法士を配置しています。原則として入院翌日、手術翌日にリハビリを開始し、早期のADL改善とPICS予防を目指しています。デバイスが多い重症患者さんや多様な障害像を呈する患者さんの病態理解に努め、必要な介入を行います。多職種回診で得た情報も踏まえ早期離床によるメリットがあれば、人工呼吸器管理中の患者さんであっても積極的に離床(立位・歩行)を進めています。また重症患者さんは長期臥床になりやすいため、リハビリ以外の時間の過ごし方が重要です。看護師や臨床工学技士と協力し積極的に体位変換やベッドアップ、端坐位等の離床を行いチーム全体でサポートする体制づくりをしています。



臨床工学技士 岸川 源直

ICUで提供される高度医療は補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置など生命維持管理装置をはじめ数多くの医療機器に支えられています。当院ではECMO3台・Impella2台・IABP3台・人工呼吸器33台・CHDF6台をはじめとした充実した治療装置を備え、NO療法・低体温療法・血漿交換など多彩な治療に24時間対応可能な体制を構築しており、医療機器の適切な使用に留まらず積極的に患者さんの病態把握につとめICU治療の一翼を担っております。



管理栄養士 栗並 美保 / 中安 知何

### 管理栄養士 栗並 美保 / 中安 知何

当院は、2012年より管理栄養士がICUでの栄養管理を行っており、現在専任2名を中心に計6名の管理栄養士が介入しています。急性期患者において早期の経腸栄養をはじめとする適正な栄養療法が患者さんの予後に大きく左右することが示され、令和2年の診療報酬改定では早期栄養介入管理加算が新設されました。私達は、患者さんの身体所見や検査データなど日々変化する病態を把握し、治療経過より今後の栄養状態の予測・評価を行います。これらを踏まえ、より最適な栄養療法を医師へ提案できるよう心がけています。



ソーシャルワーカー 長崎 慎一郎

治療目的の転院調整や、経済的・今後の生活への不安等に対して活用できる制度等のご案内を行います。また、一般病棟転棟後により円滑な支援につなげる事ができるよう、院内外の関係部署との連携を図っております。



医療法人 徳洲会

# 福岡徳洲会病院

〒816-0864 福岡県春日市須玖北4丁目5番地  
TEL.092-573-6622(代表) FAX.092-573-1733

<https://www.f-toku.jp/>

福岡徳洲会病院 検索

表紙

心臓血管外科による手術風景。  
医師としての使命感と豊富な手術経験が、成功へと導きます。

総合外来予定表は  
ホームページをご参照ください。  
2022-08-TEAM002

